

運営委員会だより

運営委員 内藤 真治

◇誰が言い出したのか「毎日マユツバ 読売与太者 朝日新聞ニセ紳士」ということばがあります。あとには「産経残酷 時事地獄」と続くようですから、おそらくは記者クラブにたむろする新聞・通信社の記者仲間による自嘲を込めたザレ言でしょう。「新聞で信用できるのは発行の日付だけ」という極端な意見さえあります。

◇昔は「新聞なんてどれを読んでも同じ」と言われました。ところが昨今は読売・朝日・毎日・産経・日経の全国紙5紙の立ち位置や政権との距離感が画然と分かれています。官邸の代弁者のような全国紙を見てみると、「ウオッチドッグ(番犬から転じて権力者を監視する人) ジャーナリズム」という言葉や話題の映画「ペンタゴン・ペーパーズ/最高機密文書」をどう見ているかを聞いてみたいくなります。

◇「だって新聞に出てたよ」と報道を無批判に過信するのは危険ですが、だまされないためにはどうメディアに接したらよいか「メディア・リテラシー」が求められています。ただ常に《Y紙やS紙は政府寄り》と決めて

かかるのも問題で、かつて家永教科書訴訟の際、東京地裁の杉本裁判長が原告勝訴の判決(文部省の検定は憲法が禁ずる検閲にあたり違法)を下した時に最もこの判決を評価する紙面を作ったのは産経(当時は『サンケイ』)新聞でした。60年安保闘争で東大生・樺美智子さんが国会構内で亡くなった翌日の新聞を読み比べると、前日の現場の状況を正確に伝えたのも同紙です。かつての東京新聞は極めて保守的な論調でした。時々各紙を読み比べて「最近の傾向」を知ることが大切です。◇活字離れが言われ、新聞はどこも部数を減らし経営が苦しくなっています。しかしこのまま紙の新聞が衰退し、なくなってもいいとは思えません。私たちは賢い読者として、ジャーナリズムを育てることが求められます。◇看板に偽りの「運営委員会だより」になってしまいました。フォーラムでは目下今年度の総会及び関連企画の日程・内容について鋭意検討中です。

会員みなさんにはどうぞ提案やご意見をお寄せください。ニュース『育ちと学び』の内容についても同様です。

今後の主な予定

- | | |
|----------------------|--|
| 5月11日(金) 13時～ | スダジイ楽書会(フォーラム) |
| 5月12日(土) 午前・午後 | パステルアート寺子屋(フォーラム) |
| 5月18日(金) 14時30分～ | 原発と自然エネルギー研究部会(フォーラム) |
| 5月25日(金) 13時～ | スダジイ楽書会(フォーラム) |
| 5月26日(土) 14時～ | 近現代史ゼミ(群馬県生涯学習センター) |
| 6月1日(金) 13時～ | スダジイ楽書会(フォーラム) |
| 6月9日(土) 10時～
13時～ | 第9回ぐんま教育文化フォーラム総会・評議員会(教育会館)
学習と討論『セクシュアルマイノリティ(LGBT等)』 |
| 6月15日(金) 13時～ | スダジイ楽書会(フォーラム) |

育ちと学び No. 36

ぐんま教育文化フォーラム

2018年4月27日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

